

オアシススケッチ

～まちの話題～



力強く謝辞を述べる竹内健人さん

一月十日「成人の日」に、エスペランス丸山で、阿久比町成人式が開かれました。色とりどりの振り袖や真新しいスーツに身を包んだ新成人二百二十五人が出席し、大人への自覚を新たにしました。



町長が「自らの手で人生を切り開き、大いなる志のもと、それぞれの舞台で活躍してください」と若者にエールを送り、新成人を代表して竹内健人さんは「自分を見失わず若者らしく一日一日を大切にしながら、社会に貢献できるよう努力します」と力強く謝辞を述べました。

成人式実行委員が企画した「新成人の集い」では、学校生活の思い出のスライド上映や中学の恩師を迎えての懇親会などが催されました。

式の終了後には、旧友との再会を喜び、思い出話に花を咲かせたり、写真を撮り合ったりするなど、会場は華やかな雰囲気にも包まれていました。



仲間と写真を撮り合う新成人

大空に自慢の たこ 凧が舞う



「凧あげ大会」に1,780人参加



ビニールカイトを揚げる親子連れら



各地区自慢の大凧揚げに挑戦

「第二十五回阿久比町凧あげ大会」が一月九日町内小学校区ごとに四会場で行われ、手作りの凧が大空に舞いました。

子どもは凧作り講習会で作ったビニールカイトを、大人は各地区で作った大凧を揚げました。

今年の干支はウサギをあしらった大凧などが揚がり、親子連れら参加者千七百八十人が「冬の風物詩」を楽しみました。

大会で揚げられた「大凧」は二月十一日から二月二十日まで、中央公民館南館ホールで展示をします。力作をご覧ください。